

※記載例を参照の上、ご記入ください。

(様式第3号) 企業・団体名 (株式会社エイティ)

SDGs達成に向けた具体的な取組 (要件2) 【R5.11.30変更】

項目番号	カテゴリ	チェック項目	取組レベル	【非該当】の場合 選択入力	【予定】の場合 選択入力	具体的な取組 (県などの取得証があれば、併せて記載) 【非該当】を選択した場合こちらには理由記載	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
							1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
1	人権・労働	【差別的禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本 (必須)			・2021年11月「社員の子育て応援宣言」登録済み。 ・女性管理職比率2020年2.5%⇒2030年7.5%以上の実現を目指す →達成済み2026年10.5%					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
2		【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	基本 (必須)			・研修の実施・相談窓口を設置している。 ・2023年3月21日 全社員を対象にハラスメント講習会を実施。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8								16.1	
3		【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本 (必須)			・36協定届において1か月の残業時間が45h以内勤務を明記している。(特別条項届出有り80h/月) ⇒ 2025年度 年間平均残業時間 9.3h/月								8.5 8.8									
4		【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本 (必須)		【予定】	・【予定】現在、外国人労働者の存在は無いが、外国人実習者の受入に備え体制整備等に向けた情報収集(セミナー等の受講等)を行っていく。				4.4				8.7 8.8		10.2 10.3							
5		【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本 (必須)			・就業規則において労働安全衛生に対する諸事項を明記し、経営陣・社員への周知徹底を図っている。 ・管理職3名が安全衛生推進者養成講習受講済み。			3					8									
6		【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本 (必須)			・メンタルヘルスに関する規定を就業規則に明記し、周知を図っている。 ・2023年9月22日 メンタルヘルス研修会実施済み。			3														
7		【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本 (必須)			・男女、年齢に関係ない役職者への登用を推進 ・定年を65歳まで延長、継続雇用制度を導入済み。					5.1 5.5			8.5		10.2 10.3							
8		【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本 (必須)		【予定】	・各種研修を実施している。(新入社員研修、管理・監督者研修、生産・製造研修、健康・メンタルヘルス研修等) ・【予定】資格取得等促進に関し支援体制を構築し推進する。				4	5.5			8	9								
9		【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本 (必須)			・パートタイム労働法、労働契約法等の改正内容を理解し、同一労働同一賃金等の原則に沿った体制を整備し対応している。					5.5			8.5		10.2 10.3							
10		【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ (任意)			・毎朝、ラジオ体操を実施している。 ・無償提供の給茶機にスポーツドリンクを導入して熱中症対策を行っている。 ・2023年10月 事務所裏入口にAEDを設置しました。			3					8									
11	環境	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本 (必須)			・産業廃棄物処理に際してはISO14001取得業者と契約し、適切な資源リサイクルを行い、資源保護を推進している。 ・廃棄物の種類・量など現状を把握している。										11.6	12		14.1				
12		【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本 (必須)			・環境省の脱炭素ポータルを活用し、温室効果ガス排出量を算出している。							7.3					13					
13		【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本 (必須)			・電子帳簿保存法への対応、給与明細の電子化に対応。 ・第5工場建設の際に敷地内の工場すべての屋根に太陽光パネルの設置を検討したが予算が取れず先送り。							7.2 7.3				12.4	13.3					
14		【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	基本 (必須)			・加工部品の切削油除去のため有機溶剤を使用しているが、安全衛生教育を行い管理体制を整備している。			3.9			6.3				11.6	12.4						

項目番号	カテゴリ	チェック項目	取組レベル	【非該当】の場合選択入力	【予定】の場合選択入力	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載) 【非該当】を選択した場合こちらには理由記載	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
							1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																							
15	環境	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本 (必須)			・製造工程の大半が手作業による組立であり、産業排水・廃油等を殆ど出さない事業展開により、生物多様性保全に努めている。						6.6									15		
16		【3Rの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本 (必須)			・産業廃棄物処理に際してはISO14001取得業者と契約し、適切な資源リサイクルを推進している。												13		14.1			
17		【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレンジ (任意)			・第4工場、第5工場建設に際し、大規模な造成工事で排水溝整備を行っており、雨水が適切に排水される対策を実施している。						6.4 6.6											
18		【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ (任意)		【予定】	・【予定】自社業務に適した環境マネジメント規格を調査し、規格の取得を検討する。			3.9			6	7					12	13.3	14	15		
19		【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ (任意)		【予定】	・【予定】環境方針を策定し会社ホームページで公開する。												12.6					
20		【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ (任意)		【予定】	・【予定】再生可能エネルギーとして工場の屋根に太陽光発電設備の設置を検討していく。							7.2						13				
21	公正な事業慣行	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ (任意)			・グリーン購入を推進しており、価格だけでなく環境負荷の出来るだけ小さい製品やサービスを、環境負荷の低減に努める事業者から優先して購入している。												12.2	13	14	15		
22		【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本 (必須)			・就業規則において汚職・贈収賄禁止を定め、周知している。																16 16.5	
23		【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本 (必須)			・【予定】不正競争防止に向けた方針の策定、社員への周知を行う。																16	
24		【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本 (必須)			・就業規則において知的財産の対する取り扱いを明記し、知的財産の取得・漏洩防止について体制を構築している。							8.2 8.3	9									
25		【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本 (必須)			・就業規則において個人情報保護について明記し、個人情報保護の徹底を図っている。 ・個人情報保護に関する基本方針を策定し、社内での周知徹底を図るとともに、弊社HP上で公表している。																16	
26		【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ (任意)			・原材料を中心に購入品の製品情報入手し、紛争鉱物が使用されていないことを確認している。																16	
27		【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ (任意)			・【予定】SDGs達成に向けた取組をサプライヤーや事業パートナーへ発信し、認識共有を図る。					5		8		10		12	13	14	15	16	17	
28		【パートナーシップ構築宣言】(R5.9.5～追加) ・中小企業庁等が推進する「パートナーシップ構築宣言」を作成・公表している ■パートナーシップ構築宣言サイト：https://www.biz-partnership.jp/	基本 (必須)		【予定】	・「パートナーシップ構築宣言」を作成・公表予定。			3				8	9	10								17

項目 番号	チェック項目	取組 レベル	【非該当】 の場合 選択入力	【予定】の 場合 選択入力	具体的な取組 (果などの取得認証があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合こちらには理由記載)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																						
29	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本 (必須)			・客先ごとの仕様に応じて、弊社内に蓄積したノウハウを提供する仕組みを構築している。 ・経済産業省による「地域未来牽引企業」に選定される。(2020年10月)			3.9									12.4					
30	【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本 (必須)			・客先ごとの仕様に応じて、弊社内に蓄積したノウハウを提供する仕組みを構築している。 ・品質向上のため、ものづくり補助金を活用して設備を導入し検査体制を強化した。(2023年8月)									9								
31	【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ (任意)			・取引先を介し電気自動車の心臓部と言える車載電池自動製造装置の製造に係わっており、温暖化防止等地球環境維持に貢献している。						6						12	13	14	15		
32	【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ (任意)			・労働人口の減少化に対応する自動機の製造を主力業務に位置付けている。 ・長野県より承認を得た「地域経済牽引事情計画」において、雇用の創出を含め地域経済活性化を実現を図っている。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
33	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本 (必須)			・上田市商工会、丸子テクノネット、上田ドリームワークス、上田法人会丸子支部等各種団体に参加し、地域の発展に貢献している。				4					9		11	12		14	15		17
34	【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ (任意)			・地域金融機関との連携により「地方創生応援私募債」を発行し、地元中学校に対しテレビの寄贈を行った。(2019年度) ・地域金融機関との連携により「SDGs私募債」を発行し、地元高校に対し複合機の寄贈を行った。(2020年度)				4							11			14	15		17
35	【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している	チャレンジ (任意)			・売上高の7割以上が地域外企業によるものであるのに対し、上田地域に22社以上のサプライヤー企業を有しており、地産外商に取り組んでいる。								8	9		11	12	13				
36	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有している	基本 (必須)			・企業理念を明文化し周知を図っている。 ・「個人技術力」と「チームワーク」を社内で共有理念として、顧客からの信頼を確保している。								8	9								17
37	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	基本 (必須)			・就業規則においてコンプライアンス遵守について明記し、周知徹底を図っている。 ・ポータルサイトを活用した外部専門機関によるコンプライアンス研修を実施している。																	16
38	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本 (必須)			・CSR管理者を選任し、専門部署を設置している。																	16
39	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している (※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体)	基本 (必須)			・社長自らが先頭に立ち、取引先をはじめ市や商工会等の地域ステークホルダーとのコミュニケーション推進を行う事で、弊社の事業活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、対応している。																16	17
40	【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ (任意)		【予定】	・リスク(安全性、環境、経営等)の洗い出しを行い、適切に対応している。 ・【予定】リスクマネジメントシステム構築を検討する。																	16
41	【社会的責任】 ・CSR (Corporate Social Responsibility: 企業の社会的責任) の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンジ (任意)		【予定】	・CSR管理者を選任し、専門部署を設置している。 ・【予定】CSR方針の策定、CSRマネジメントの整備を検討する。																	16
42	【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ (任意)			・「事業継続力強化計画」を策定。 関東経済産業局よりの認定を受ける。(2020年10月)									9		11		13 13.1				16
43	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ (任意)			・2010年10月 先代の社長から当時36歳の現社長へ事業継承を実施済み。								8	9								17

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組		具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

【記載留意事項】

- ・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されていることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取組む予定のものであっても、その取組を「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前の【予定】を選択入力してください。）
- ・【非該当】欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合に選択入力し、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。
- ・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載するほか、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、できるだけ、その旨を併せて記載してください。
（※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、女性の活躍推進企業知事表彰、男女共同参画推進県民会議表彰、障がい者雇用優良事業所等表彰、信州豊かな環境づくり県民会議表彰、長野県技能評価認定制度、NAGANOものづくりエクセレンス認定、信州福祉事業所認証・評価制度、信州リサイクル製品認定制度、信州の環境にやさしい農産物認証制度、長野県原産地呼称管理制度、信州おもてなし大賞、えるぼし認定、循環型社会形成推進功労者表彰、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など）

- この「要件2」は、ISO26000（※1）、RBA（Responsible Business Alliance）（※2）行動規範等を参考に、非財務情報（SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項）について整理し作成
- 「SDGsとの関連性」については、各項目について、169のターゲットに直接的に当てはまる場合は黒字、間接的（結果として）に寄与する17ゴールが当てはまる場合は、赤字で番号を記載
- 企業が県へ申請する際には、チェック欄へのチェックとあわせ、「具体的な取組」へ取組内容を記載
 - ※1…組織の社会的責任に関する国際規格
 - ※2…労働環境、製造プロセスの環境負荷に対する責任を持っていることを確認するための規定